

ひとり親家庭がより生活しやすくなるためには

入江 菜摘

昨今の新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、ひとり親家庭、特に女性のひとり親家庭は厳しい状況に置かれており、政府は「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給を実施した。また、新型コロナウイルス感染症まん延とは関係なく、政府はひとり親家庭に対し、「子育て・生活支援策」、「就業支援策」、「養育費の確保策」、「経済的支援策」の4本柱で施策を推進し、各地方自治体でも自治体独自のひとり親家庭の支援を行っている。

しかし、ひとり親家庭に対して様々な支援が行われているにもかかわらず、ひとり親家庭は生活困窮に陥り、苦しい生活を送っている。ひとり親家庭の貧困問題の原因には、収入が低いこと、養育費の確保が十分でないことが挙げられる。これらの問題を解決していくためには、現在行われている支援とひとり親家庭の現状とのギャップを解消し、生活賃金運動や就業環境の整備、養育費の確保などにおいて国や自治体は新たな角度からのアプローチが必要になると考える。